

## 第14回 にぎわい創出検討部会

令和4年10月27日(木) 16:00～

ポスティビルド3階研修室

出席者 部会長 + 部会委員 12名

### 今回のWSの目的は？

**ウォークアブル**、即ち「居心地が良く歩きたくなる」まちをつくるためには、常盤通りだけで完結することはできない。

雰囲気の良い通りをつくることは勿論のこと、エリア全体に魅力のある目的地を増やしていく必要がある。

**真締川 + 新庁舎広場 + 井筒屋跡地 + 琴芝街区公園 + 商店街等**の地域特性を読み取り、それに沿ったエリア別のビジョンと方針を踏まえ、沿道建築(民間、公共)との関係を考える。

第14回となる本会では、11月12日から約1ヶ月の間、常盤通りで開催される社会実験の進捗を報告した後、事例を踏まえた空間のエリアマネジメントの説明から、空間の運営管理体制の検討を4つの班に分かれて議論した。

### 今回のWSの議題

エリアマネジメントの事例をもとに  
空間の運営管理体制の検討

# 01 社会実験実施に向けた進捗状況の報告

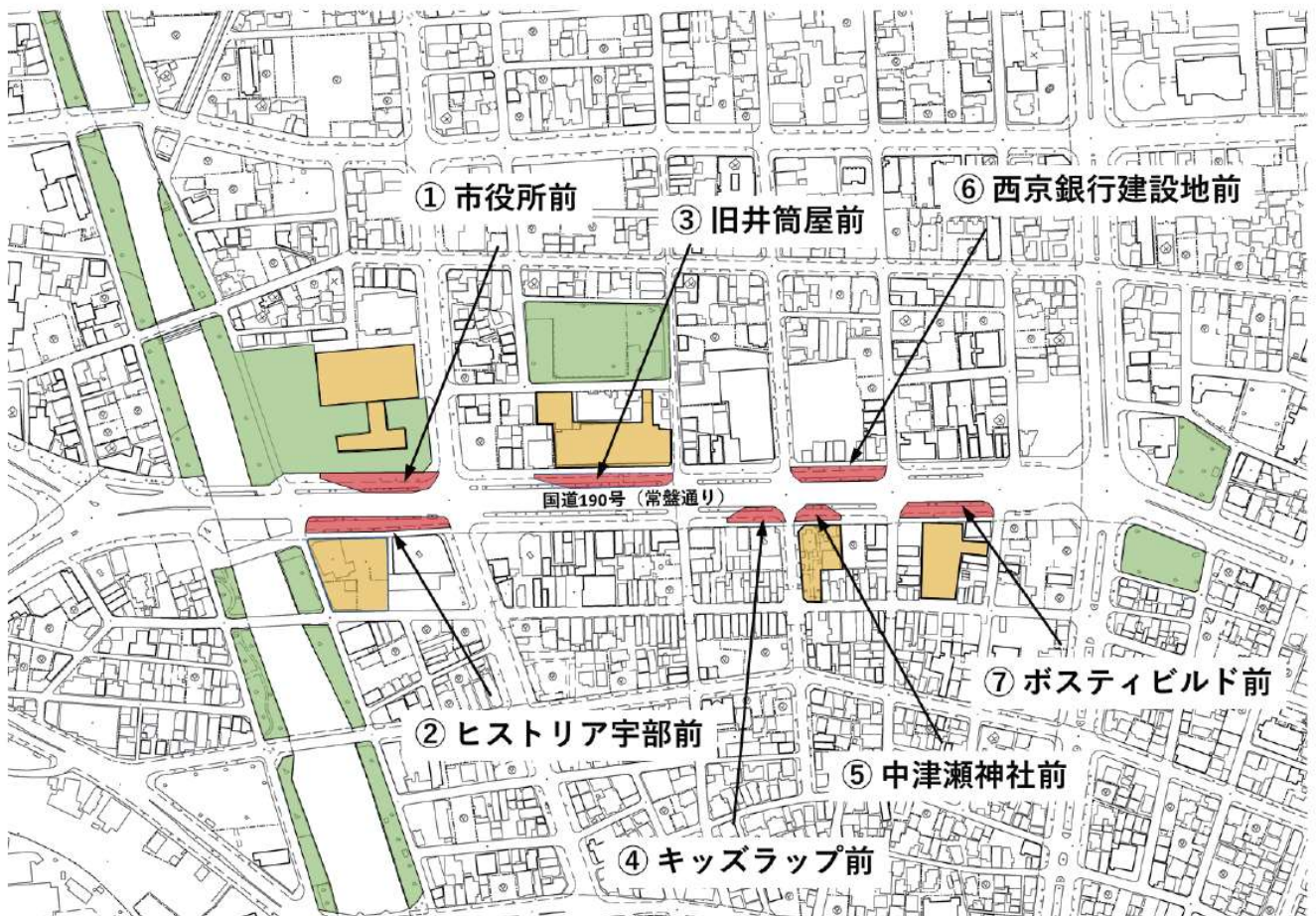
11/12 から実施予定の TokiwaikoT2 の進捗状況を各分野に関わりのある方々に報告していただいた。

- 社会実験デザイン案 - 宋 / チラシ・告知方法等の報告 - 江本 / 運営管理 - 石井
- 照明関係 - 藤重 / アーバンスポーツ - 小林
- 新庁舎前のスポット社会実験 - 藤重・石井
- 全体について - 戸坂

# 02 「だれが・どこを検討する」空間のマネジメント

エリアマネジメントや、公共空間の維持管理・利活用の説明を具体的な事例を用いながら受けた。

それらの事例も踏まえた上で常盤通りでの空間のマネジメントの検討を行った。



# 社会実験（TOKIWAIKOT2）の内容検討

## 内容説明

本検討部会で常盤通りのウォークアブル化を目指して掲げたキャッチフレーズ「みんなが自由に使えるT-Terrace」の実現へ向けて、“TOKIWAIKOT2”と題した社会実験を11月12日～12月11日（うちコア日は11/12、11/13）に開催する。今年度は、これまで議論されてきた副道の空間利活用案をもとにして、井筒屋前とポスティビルド前の歩道と幅道に歩行や滞留を目的としたキッチンカーや屋台、ファニチャ、仕掛けを設置する。

また、コア日後の1か月間（～12/11）は日常時の調査期間として、コア日で配置された副道の設置物を残しておき、空間利用者についての調査を実施する。調査の主な目的は以下の5つである。

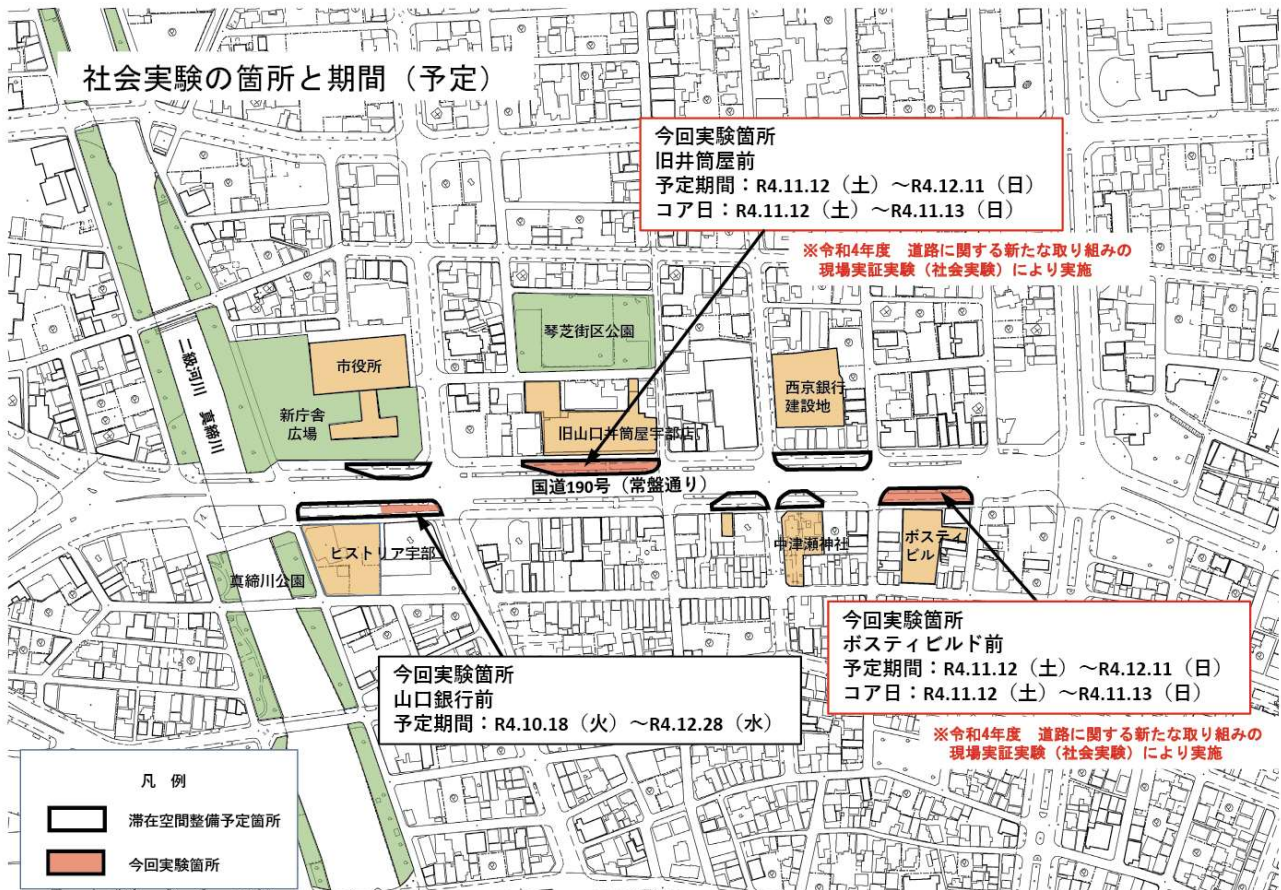
目的1：副道（緩速車路）の廃止による車路の190号線への出入りの安全性の確認

目的2：190号線へ出る車両と近接に位置しているバス停のバスとの渋滞・安全性の確認

目的3：周辺駐車場（銀行）の連携・活用による効果の検証

目的4：横断歩道の利用者（高齢者等）の満足度

目的5：整備計画案に基づく空間デザイン・設置による効果と利用者満足度



### 1 班

日常時の調査内容・イベントについて話した。

イベントを多く開催するのではなく、日常的な使いやすさや居心地、逆に利用の少なさなど素直な反応を社会実験として重視することも重要である

仮にイベントを行うのであれば、普段街中で活動されているダンスの団体などの発表の場としてステージを活用してもらうなどが考えられる。

宇部市で活動している文化団体に「あなたの普段の活動をここで行ってみませんか」というふうを集めてみるのが良いのではないかという意見が出た。

1ヶ月間でこの場所の使い方や可能性について知ってもらう・考えてもらう期間となれば良いのではないだろうか。

## 2班

大きく三つ

調査・運営・コンテンツに分けて話をした。

調査：日常時に出店する人を集めるときに売上などを取っておくと、今後にもつながりやすいのではないかという意見が出た。

車の騒音が利用中に気になるかどうかなどの居心地の良さに関する調査が必要だという意見が出た。

運営：植樹帯を切った場所・横断歩道の短くなった場所などで事故が起こった時などの緊急連絡先を決めておくこと

アーバンスポーツエリアにルールが必要だという意見が出た。

イベント出演者の募集の仕方として沿道建物や近くのエリアの公民館にチラシを掲示して募集することが重要だと感じた。

コンテンツ：ストライダーのイベントをフジグランの屋上でやっていた。そういったものも行えないか。

### 3班

日常時：ポスティビルド前は普段から利用がありそうだが、井筒屋前はイベントの開催が必要。

イベントを様々考えた。

のど自慢大会（昼のヒットスタジオ）：平日に高齢者を集める・土日に決勝など

FM きららのオープンスタジオ

井筒屋のエントランスでの火器の使用許可

ヨガ（ピラティス・ナイトヨガなどのオープンヨガ）

健康器具の設置

高校・大学のサークル活動

市長の講演・YouTube の配信

市長による表彰式→アピールにもなる

### 調査

遊んでいる人に対して、プラスな意見を集めることから始める。

その後にスケボーなど騒音が気になるなどの改善点を聞いていくことが重要なのではないかという意見が出た。

### 1 班

全体を管理する官民共同の一つの組織が必要であると思われる。

- ・エリアごとに責任者を決める。

全体を管理する人、各エリアの責任者がいることで通りとしての統一感も出るのではないかという意見が出た。

- ・沿道や新天町の方と協力した管理体制

地元の人たちと協力ができるといいといった意見が出た。



### 2 班

全体を管理する官民共同の一つの組織が必要であると思われる。

- ・エリアごとに責任者を決める。

全体を管理する人、各エリアの責任者がいることで通りとしての統一感も出るのではないかという意見が出た。

- ・沿道や新天町の方と協力した管理体制

地元の人たちと協力ができるといいといった意見が出た。



### 3班

場所ごとに区切りをつけず、全体の管理は民間で行う。

・市民の平等性を保つために、プロポーザルで全体の管理を行う民間団体を選ぶという意見が出た。  
一年区切りで行うとモチベーション含め続かないので、5年単位のもので徐々に民間に移行していく。

・全体のデザイン、管理は統一するべきと言った意見が出た。



### 4班

お金がどれほどかかるのかを明確にする必要がある。

・整備後の維持管理費の予想を出してほしい

今後の管理体制を整えるにあたって現在の状態でどれほど費用がかかっていて、整備ごとの差をどうやって埋めていくかを示す必要があるという意見が出た。

・「常盤通りを守りたい！」という人が増えれば、人が集まるし付近に住む方が増える。

・「見えるお金」と「見えないお金」

見えるお金・・・沿道の方々が関わって生まれる収益など

見えないお金・・・人口が増えたり、地価が上がったりして市役所にあがる税金

見えないお金の方が額が大きいため、予想を立ててどのように見えるお金の必要性を考えるかが重要である。

